【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成20年10月2日(2008.10.2)

【公開番号】特開2003-61649(P2003-61649A)
【公開日】平成15年3月4日(2003.3.4)
【出願番号】特願2001-259417(P2001-259417)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　9/00　(2006.01)
Ａ２３Ｌ　1/30　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　35/64　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
Ａ２３Ｌ　1/076　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　14/435　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　9/00　ＺＮＡ
Ａ２３Ｌ　1/30　Ａ
Ａ６１Ｋ　35/64
Ａ６１Ｐ　1/16
Ａ６１Ｐ　43/00　１０５
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１
Ａ６１Ｋ　37/02
Ａ２３Ｌ　1/076
Ｃ０７Ｋ　14/435

【手続補正書】
【提出日】平成20年8月14日(2008.8.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記に示す、ローヤルゼリー中のタンパク質からなる、ＭＡＰキナーゼ活性化剤。
１）還元条件下でのＳＤＳ－ポリアクリルアミドゲル電気泳動により測定される分子量が約５７キロダルトンである。
２）配列番号１のアミノ酸番号１～８のアミノ酸配列を含む。
【請求項２】
請求項１に記載のＭＡＰキナーゼ活性化剤を含有することを特徴とする組成物。
【請求項３】
医薬又は、食品であることを特徴とする、請求項２に記載の組成物。
【請求項４】
肝機能異常や先天性尿素サイクル酵素欠損症を回復・改善するものであることを特徴とする、請求項２又は３に記載の組成物。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１

【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、肝炎等の肝疾患の改善又は予防を行うのに好適な、細胞増殖を促進するＭＡＰキナーゼ活性化剤に関する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
【課題を解決するための手段】
この様な状況に鑑みて、本発明者らは鋭意研究努力を重ねた結果、ローヤルゼリー中の分子量５７キロダルトンの糖タンパク質がＭＡＰキナーゼの活性化を促進し、更に、DNA合成を促進し、肝細胞増殖促進作用に伴う肝再生促進作用を示し、これを、医薬品及び食品に配合することにより優れた肝再生促進剤を提供できることを見い出し、発明を完成させるに至った。即ち、本発明は、次に示す技術に関するものである。
＜１＞下記に示す、ローヤルゼリー中のタンパク質からなる、ＭＡＰキナーゼ活性化剤。
１）還元条件下でのＳＤＳ－ポリアクリルアミドゲル電気泳動により測定される分子量が約５７キロダルトンである。
２）配列番号１のアミノ酸番号１～８のアミノ酸配列を含む。
＜２＞＜１＞に記載のＭＡＰキナーゼ活性化剤を含有することを特徴とする組成物。
＜３＞医薬又は、食品であることを特徴とする、＜２＞に記載の組成物。
＜４＞肝機能異常や先天性尿素サイクル酵素欠損症を回復・改善するものであることを特徴とする、＜２＞又は＜３＞に記載の組成物。
以下、本発明について、実施の形態を中心に説明を加える。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
SEQUENCE LISTING
<110>ポーラ化成工業株式会社

<120>ＭＡＰキナーゼ活性化剤

<130>Ｐ２００１０８１

<140>
<141>2001-08-29

<160>1

<170>PatentIn Ver.2.0
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００２７】
<210>1
<211>25
<212>PRT
<213>Apis mellifera

<220>
<221>UNSURE
<222>(24)
<223>Xaa=unknown

<400>1
Asn Ile Leu Arg Gly Glu Ser Leu Leu Lys Lys Leu Pro Ile Leu His
1 5 10 15
Glu Met Lys Phe Phe Asp Tyr Xaa Asp
20 25